作られた「物語」を超えて(1)

山極 寿一

1 私たちは、野生動物の行動を誤解することがよくある。かつてライオンやトラを凶暴な動物、キツネやタヌキをずる賢い動物と見なしていた。そう見えたのは、人間が彼らを追い詰めて敵対的な行動を取らせ、①それを人間に都合がいいように解釈してきたからである。いわば、人間が作った「物語」である。このような「物語」は動物たちに大きな悲劇をもたらすことがある。

2 私が研究しているゴリラは②その格好の例である。十九世紀の中頃にアフリカで初めてゴリラに出くわしたヨーロッパの探検家たちは、③ゴリラをとても凶暴で好戦的な動物と見なした。それは、二足で立ち上がり、てのひらで交互に胸をたたくドラミングとよばれる行動を、戦いを宣言していると解釈したからだった。ドラミングをするゴリラのオスを見て、襲われる恐怖におびえた探検家たちは銃の引き金を引いてゴリラを撃ち殺したのである。やがて、ゴリラをモデルにした「キング・コング」という映画が製作されて世界の人気をさらい、人々はますますゴリラを暴力の権化、戦い好きな怪物と見るようになった。

（1・2は教科書本文における形式段落番号を表します）

「　」付きの言葉

「　」は、通常の意味とは異なる特別な意味をもつことを表すことがある。本文中の「物語」は、通常の物語という言葉とは異なる意味で用いられている。

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「それ」が指す内容として、適当なものを選びなさい。

ア　人間が野生動物の行動を誤解することがよくあること。
イ　人間に追い詰められたときの、動物たちの敵対的な行動。
ウ　人間が野生動物の行動に対して都合がいい解釈をすること。
エ　人間によってもたらされる、動物たちにとっての悲劇。

〔　　〕

(2) ――線②「その格好の例」とあるが、何に対する例か。解答欄に合うように本文中から書きぬきなさい。ただし、記号も字数に含む。

□□□□□□□□□□が、動物たちに□□□□□をもたらす例。

(3) ――線③「ゴリラをとても凶暴で好戦的な動物と見なした」とあるが、これはなぜか。適当なものを選びなさい。

ア　十九世紀の中頃まで、ヨーロッパでゴリラの存在は知られていなかったから。
イ　ゴリラが取るドラミングという行動を、戦いの宣言であると解釈したから。
ウ　映画によって、ゴリラは戦い好きな怪物だという認識が広まっていたから。

〔　　〕